

【例題－畜産8】

炭水化物の利用性や代謝に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 植物性飼料の成分には、セルロース、ヘミセルロース、グルテリンなどが含まれる。これらは、構造的炭水化物に属し、消化管内微生物によって分解された後、エネルギー源として宿主に利用される。
2. 炭水化物の第一胃内消化による最終産物には、VFA、メタン、水素、二酸化炭素があり、VFAのうちでは、酢酸、プロピオン酸、酪酸の生成量が多い。
3. ペクチンは、ビートや果実などに含まれる炭水化物であり、単胃動物では、デンプンやショ糖と同じく、消化管から分泌される酵素によって容易に消化・利用される。
4. グルコースの分解が好気的な条件で進むと、ピルビン酸からアセチル CoA が生じる。アセチル CoA は、オキサロ酢酸と縮合してクエン酸となってオルニチン回路に入り、二酸化炭素と水に分解される。
5. 単胃動物における糖新生の材料として、蛋白質の代謝によって生じたアミノ酸は利用されないが、グリコーゲンの分解によって生じた乳酸や脂肪代謝の過程で生じたグリセロールなどは利用される。

(正答) 2